「へいわ創造機構ひろしま」発足趣意書

広島には，人類史上初の原子爆弾による破壊を経験し，その廃墟から復興した地であるからこそ，果たすべき使命と役割があります。
この使命と役割を果たすため，広島県においては，平成 23 年に，「国際平和拠点ひろしま構想」を策定して，核兵器の廃絶，復興・平和構築等を包括的に進めています。

今日，世界に目を向けると，国家間や地域間，民族間の紛争が続き，多くの人々が，飢餓や貧困に苦しみ，そして，命を落としており，世界中で猛威をふるう新型コロナウィルス感染症により，状況は悪化の一途をたどっています。また，この地球を，何百回も破壊できる１万３千発を超える核兵器は存在し続けたままです。核兵器国の多くは，その近代化・小型化に取り組んでいるほか，核兵器開発を疑われている国もあるなど，核兵器のない平和な世界の実現に向けた道のりは，遥か遠いと言わざるをえません。

これまで，本協議会では，国連訓練調査研究所（ユニタール）広島事務所の活動支援を通じて，平和な国際社会構築のための人材育成を行ってきたほか，カンボジアの教育・保健分野での復興支援を行い，また，経済界と平和との関わり方を議論するための世界平和経済人会議を開催するなど，平和で安定した国際社会の実現を推進してきたところです。

こうした中，広島県では，被爆 75 年を契機として，高齢化する被爆者の皆様の願いである一日も早い核兵器廃絶を実現するため，核兵器廃絶のための世界的な行動をすべての国連加盟国，国際機関，市民社会に改めて呼びかける「ひろしまイニシアティブ」の策定・推進を進めています。「ひろしまイニシアティブ」は，自由で開かれた討論を通して，核兵器廃絶に向けた新たな提案を策定・推進することで，核兵器廃絶実現に向けた決意を改めて示し，核兵器のない平和な世界の実現に具体的に貢献することを目指しています。
「ひろしまイニシアティブ」を推進し，世界への働きかけを強化していくためには，広島県のみならず，できるだけ幅広い分野の主体と連携し，推進基盤となる組織が必要です。

このため，この度，国際機関，経済界，大学等で構成する「ひろしま平和推進ネットワーク協議会」の機能強化を図り，「へいわ創造機構ひろしま」を設立することといたしました。

「へいわ創造機構ひろしま」は，今後，核兵器廃絶のための多国間枠組の形成を担っていくほか，新たな安全保障政策に関する研究機能，核兵器廃絶と国際平和の実現に貢献する人材育成機能，賛同者拡大のための情報発信機能等を充実させ，様々な主体とのネットワークを構築しながら，国際社会への働きかけを強化していきます。

「へいわ創造機構ひろしま」の名には，広島から，核抑止に頼らない新たな平和のメカニズムを創り出し，核兵器のない平和な世界の実現を目指していく強い志と覚悟を込めています。「へいわ創造機構ひろしま」の活動が，様々な主体との連携・協働を生み出し，大きなうねりとなって国際社会を変革し，そして，核兵器のない平和な世界が実現する日まで，我々は行動し続けます。

令和 3 年 3 月 17 日
ひろしま平和推進ネットワーク協議会
会長　湯﨑英彦